

# 2016年リオデジャネイロ・オリンピック

## 男子フリースタイル74kg級／出場選手・展望

昨年の世界選手権で2012年ロンドン・オリンピックを含めて4度目の世界一に輝いたジョーダン・バローズ(米国)が優勝候補の筆頭。今年もヤシャ・ドク国際大会(トルコ)、パンアメリカン選手権と白星街道を重ねている。

世界選手権2位はウヌルバト・プレブジャブ(モンゴル)だが、むしろ世界3位でハイレベルのロシアの闘いを勝ち抜いてきたアニウアール・ゲデュエフ(ロシア)、同じく3位でロンドン・オリンピックに続く出場のナラシン・ヤダフ(インド)の方が打倒バローズの可能性が高いのではないか。

世界選手権は7位に終わったが、オリンピック・パンアメリカン予選優勝のリバン・ロベス・アスクイ(キューバ)は6月のカナダ・カップ優勝と調子を上げている。2014年世界選手権で快勝している高谷だが、階級を上げた直後と今とは同じようには論じられまい。

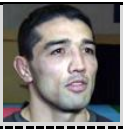






昨年の世界選手権3位のナラシン・パンチャフ・ヤダフ(インド)は、国内のドーピング検査で陽性と判断され、いったんは出場が取り消されたが、シロと判断され、オリンピックの舞台へ。強敵の一人だ。

バローズを除けば、2014年に世界2位になった高谷の実績も引けをとらない。

### 【エントリー選手】

出場資格獲得大会	選手(生年月日・年齢)	国名	過去の主な成績
世界選手権優勝	 <b>Burroughs, Jordan</b> <b>ジョーダン・バローズ</b> (1988-08-07=28歳)	米国	2011・13年世界選手権優勝 2012年ロンドン・オリンピック優勝 2016年パンアメリカン選手権優勝 【UWW8月ランキング:1位】2011年世界選手権に初出場して初優勝。翌年のロンドン・オリンピックでも優勝し、2013年世界選手権でも勝った。2014年は負傷もあって3位に終わったが、2015年世界選手権で復活優勝。2016年も2月のパンアメリカン選手権と7月のドイツGP優勝と、向かうところ敵なし。 《日本代表選手との対戦成績》【2012年ワールドカップ】高谷●[1-2(5-4,1-3,2-3)]○Jordan Burroughs 【2013年ワールドカップ】高谷●[0-2(0-2,1-7)]○Jordan Burroughs
世界選手権2位	 <b>Purevjav, Unurbat</b> <b>ウヌルバト・プレブジャブ</b> (1988-02-15=28歳)	モンゴル	2012年ロンドン・オリンピック12位 2014年アジア選手権2位 2016年ヤシャ・ドク国際大会86kg級3位 【UWW8月ランキング:3位】2005年アジア・カデット選手権優勝で国際舞台のキャリアをスタート。2011年アジア選手権3位を経て、2012年ロンドン・オリンピックへ(12位)。2014年世界選手権は17位だったが、2015年は決勝進出を果たした。7月のスペインGPは3位。 《日本代表選手との対戦成績》【2014年ワールドカップ】高谷●[2-3]○Unurbat Purevjav
世界選手権3位	 <b>Geduev, Aniuar</b> <b>アニウアール・ゲデュエフ</b> (1987-01-26=29歳)	ロシア	2013・14年ヤリギン国際大会優勝 2013・14年欧州選手権優勝 2015年欧州大会優勝 【UWW8月ランキング:2位】2011年のプレ・オリンピックで優勝したが、オリンピックは出場できず。2013年から2度の欧州選手権を含めて国際大会で6大会連続優勝。2015年欧州大会でも優勝。 《日本代表選手との対戦成績》【2015年世界選手権】高谷●[Tフォール、4:21=0-11]○Aniuar Geduev
世界選手権3位	 <b>Yadav, Narsingh Panchav</b> <b>ナラシン・パンチャフ・ヤダフ</b> (1989-08-06=27歳)	インド	2012年ロンドン・オリンピック出場 2014年アジア大会3位 2015年アジア選手権3位 【UWW7月ランキング:9位】2006年アジア大会に16歳で出場。2010年アジア選手権優勝などを経て、2012年ロンドン・オリンピック出場(13位)。2013年世界選手権5位、2014年アジア大会3位とトップレベルを維持。 《日本代表選手との対戦成績》【2005年アジア・カデット選手権】高谷●[0-2(0-5,0-4)]Narsingh Panchav Yadav

世界選手権5位 (別の選手が獲得)		<b>Yazdani Charati, Hassan</b> <b>ハサン・ヤズダニ</b> (1994-12-2=21歳)	イラン	2014年世界ジュニア選手権66kg級優勝 2015年世界選手権70kg級2位 2016年ワールドカップ74kg級代表
【UWW8月ランキング:4位】2011年世界カデット選手権2位を経て、2014年世界ジュニア選手権66kg級優勝。70kg級で2015年世界2位となり、74kg級にアップしてイランの代表権を勝ち取った。				
世界選手権5位		<b>Khadjiev, Zelimkhan</b> <b>ゼリムカン・カジエフ</b> (1994-05-20=22歳)	フランス	2014年世界ジュニア選手権優勝 2015年欧州大会7位 2016年スペインGP優勝
【UWW7月ランキング:11位】2013年頃からコンスタントに欧州での大会の上位へ。2014年には世界ジュニア選手権で優勝。今年7月のスペインGPは2位。				
欧州予選優勝		<b>Hasanov, Yabrail</b> <b>ヤブライル・ハサノフ</b> (1990-02-24=26歳)	アゼルバイジャン	2012年ロンドン・オリンピック66kg級5位 2015年世界選手権21位 2016年欧州選手権2位
【UWW8月ランキング:8位】2007年欧州カデット選手権優勝などを経て欧州のトップクラスへ。2010-11年世界選手権で連続3位。2012年ロンドン・オリンピックは5位。昨年の世界選手権でオリンピック出場枠を逃したが、欧州予選で獲得。				
欧州予選2位		<b>Makarashvili, Yakob</b> <b>ヤコブ・マカラシビリ</b> (1985-12-28=30歳)	ジョージア	2013年世界選手権5位 2014年欧州選手権9位 2016年欧州選手権3位
【UWW8月ランキング:12位】初出場の2013年世界選手権で5位。国際大会では上位入賞もあるが不振もあり、安定性に欠ける。				
パンアメリカン予選優勝		<b>Lopez Azcuy, Livan</b> <b>リバン・ロペス・アスクイ</b> (1982-01-24=34歳)	キューバ	2012年ロンドン・オリンピック66kg級2位 2014年世界選手権3位 2015年世界選手権7位
【UWW8月ランキング:5位】66kg級で2011年世界選手権と2012年ロンドン・オリンピック連続3位。2013年世界選手権は2位。階級区分変更で74kg級へ。今年6月のジオルコウスキ国際大会(ポーランド)は86kg級で16位だったが、カナダカップと7月のスペインGPは優勝と勢いをつけた。 《日本代表選手との対戦成績》【2014年世界選手権】高谷○【Tフール、4:42=15-2】●Livan Lopez Azcuy				
パンアメリカン予選2位		<b>Izquierdo Mendez, Carlos Arturo</b> <b>カルロス・イズクイエルド</b> (1997-10-02=18歳)	コロンビア	2016年ユース・オリンピック76kg級4位 2016年パンアメリカン選手権2位 2016年ジオルコウスキ国際大会8位
【UWW8月ランキング:外】2014年にパンアメリカン・カデット選手権を制し、ユースオリンピックにも出場(4位)。2016年パンアメリカン選手権2位のあと、出場枠を獲得。				
アジア予選優勝		<b>Userbaev, Galimzhan</b> <b>ガリムジャン・ウセルバエフ</b> (1988-12-19=27歳)	カザフスタン	2014年世界選手権14位 2015年世界軍隊選手権3位 2016年ジオルコウスキ国際大会5位
【UWW8月ランキング:外】2014年に世界選手権に初出場して14位。同年の世界軍隊選手権で優勝した。出場枠を取ったあとは、6月のジオルコウスキ国際大会(ポーランド)5位。 《日本代表選手との対戦成績》【2016年アジア予選】高谷●【途中棄権、0:25=0-1】○Galimzhan Userbaev				
アジア予選2位		<b>高谷 惣亮</b> (1989-04-05=27歳)	日本	
【UWW8月ランキング:14位】				
アフリカ・オセアニア予選優勝		<b>Midana, Augusto</b> <b>オーガスト・ミダナ</b> (1984-05-20=32歳)	ギニアビサオ	2012年ロンドン・オリンピック7位 2015年世界選手権20位 2016年アフリカ選手権優勝
【UWW8月ランキング:外】アフリカではトップクラスだが、世界では途上選手。				

<p>アフリカ・オセアニア 予選2位</p>		<p><b>Ilyasov, Talgat</b> <b>タルガト・イリヤソフ</b> (1981-02-25=35歳)</p>	<p>オーストラリア (元ウズベキスタン)</p>	<p>2003年世界選手権6位 2015年カナダカップ優勝 2015年世界選手権30位</p>
<p>【UWW8月ランキング:外】2000年まではウズベキスタン選手。2003年からオーストラリア国籍となり、同年の世界選手権で6位。長いブランクのあと、2015年に復帰した。</p>				
<p>世界予選第1戦 優勝</p>		<p><b>Demirtas, Soener</b> <b>ソエナー・デミルタス</b> (1991-06-25=25歳)</p>	<p>トルコ</p>	<p>2015年欧州大会2位 2015年世界選手権15位 2016年欧州選手権優勝</p>
<p>【UWW8月ランキング:7位】2010年欧州ジュニア選手権2位を皮切りに、欧州のトップレベルへ。2015年欧州大会2位、2016年欧州選手権優勝を経て、オリンピック出場権を獲得。</p>				
<p>《日本代表選手との対戦成績》【2014年ヤシヤドク国際大会】高谷●[警告失格、3-3]○Soener Demirtas</p>				
<p>世界予選第1戦 2位</p>		<p><b>Ivanov, Georgi</b> <b>ゲオルギ・イワノフ</b> ( )</p>	<p>ブルガリア</p>	<p>2015年デーブ・シュルツ国際大会2位 2015年世界選手権26位 2016年アリ・アリエフ国際大会5位</p>
<p>【UWW8月ランキング:20位】初出場となった昨年の世界選手権は26位だったが、ダン・コロフ国際大会(ブルガリア)5位を経て、出場枠を獲得。</p>				
<p>世界予選第1戦 3位</p>		<p><b>Nedealco, Evgheni</b> <b>エフゲニ・ネデアルコ</b> (1990-01-03=26歳)</p>	<p>モルドバ</p>	<p>2014年世界大学選手権70kg級優勝 2015年世界選手権12位 2016年ドイツGP5位</p>
<p>【UWW8月ランキング:17位】さしたる実績はなかったが、2014年に世界学生選手権70kg級で勝ち、世界選手権で10位へ。2015年はギリシャの国際大会で優勝。今年7月のドイツGPは5位。</p>				
<p>世界予選最終戦 優勝</p>		<p><b>Abdurakhmanov, Bekzod</b> <b>ベクゾド・アブデュラクマノフ</b> (1990-03-15=26歳)</p>	<p>ウズベキスタン</p>	<p>2014年アジア大会70kg級優勝 2015年世界選手権70kg級9位 2016年ドイツGP3位</p>
<p>【UWW8月ランキング:10位】2014年世界選手権70kg級3位を経て、同年アジア大会で優勝。2015年アジア選手権、ゴールデンGP決勝大会も勝った。74kg級で出場枠を取った後は、ドイツGPで3位。</p>				
<p>世界予選最終戦 2位</p>		<p><b>Friev Naskideava, Taymuraz</b> <b>タイムラス・フリエフ・ナスキデアフ</b> (1986-09-15=30歳)</p>	<p>スペイン (元ロシア)</p>	<p>2013年世界選手権84kg級5位 2015年スペインGP86kg級優勝 2015年世界選手権23位</p>
<p>【UWW8月ランキング:19位】2010年まではロシア。2013年からスペイン国籍で、同年の世界選手権84kg級で5位。</p>				
<p>ワイルドカード 2位</p>		<p><b>Castelly, Asnage</b> <b>アスナゲ・カステリー</b> ( )</p>	<p>ハイチ</p>	<p>2015年パンアメリカン選手権15位 2015年世界選手権41位</p>
<p>【UWW8月ランキング:外】米国在住。2015年世界選手権を含めて4度の予選挑戦実らなかったが、ワイルドカードで同国レスリング選手として初めてのオリンピックへ。</p>				